

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

市貝町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

栃木県芳賀郡市貝町

3 地域再生計画の区域

栃木県芳賀郡市貝町の全域

4 地域再生計画の目標

当町の総人口（国勢調査）は、昭和 60 年から平成 7 年までは増加し、その後は、減少傾向にある。平成 27 年は 11,720 人で、平成 7 年と比較すると 826 人の減少となっている。国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」）推計による当町の将来人口では、平成 27 年から 50 年後にあたる令和 47 年の総人口が 5,888 人と見込まれており、今後 50 年間の減少数は 5,832 人、減少率は 49.8%と想定されている。

人口の減少は、出生数の減少による自然減と、進学や就職に伴う若者の転出による社会減が原因と考えられる。

自然動態について、出生数は、平成 20 年から平成 30 年にかけて 58 人から 102 人の間で推移しているが、平成 28 年以降は減少傾向となっており、平成 30 年では 58 人となっている。死亡数は、平成 20 年から平成 30 年にかけて 116 人から 167 人の間で推移しており、平成 30 年は 150 人となっている。当町の自然増減は、自然減で推移しており、平成 30 年は 92 人の自然減となっている。なお、当町の合計特殊出生率は、平成 21 年から平成 29 年にかけて 1.27 から 1.57 の間で推移しており、平成 29 年に 1.27 と、国や県の数値より下回っている。

社会動態について、転入数は、平成 20 年から平成 30 年にかけて 350 人から 438 人の間で推移しており、平成 30 年は 406 人となっている。転出数は、平成 20 年から平成 30 年にかけて 357 人から 500 人の間で推移しており、平成 30 年は 409 人となっている。社会増減は、社会減 110 人から社会増 63 人の間で推移しており、平成 30 年は

3 人の社会減となっている。

年齢階層（3 区分）別人口の割合では、年少人口は減少傾向を続けており、平成 27 年が 12.3%となっている。生産年齢人口は、60%前半で推移し、平成 27 年が 64.9%となっている。高齢者人口は、増加傾向が続いており、平成 27 年が 25.3%となっており、平成 12 年で、高齢者人口割合が年少人口割合を上回っている。社人研の推計によると、年少人口割合と生産年齢人口割合が減少し、高齢者人口割合は増加すると想定されている。

人口減少が進むことで、労働力と消費意欲の低下を招き、地域経済の縮小に伴い税収入の減少が懸念されるほか、地域コミュニティの維持が困難になるなど、多様な課題が発現することが想定される。

これらの課題に対応するため、当町の特色であるサシバの里づくりを最大限に活かした転入人口の増加や出生率の向上などを人口対策の方向性とし、本計画において、以下の基本目標を設定する。

基本目標

- ① サシバの里の環境と地場産業が両立した地域循環型経済の確立
- ② 地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信
- ③ 子や孫がいきいきと安心して成長できる子育て支援の充実
- ④ 健やかに生きがいを持って生き抜くことができる体制の構築

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内総生産額	84,770百万円	95,055百万円	基本目標 1
イ	転入人口の増加数 (5 年間累計)	16人 (4年間累計)	20人	基本目標 2
	観光入り込み客数	592,641人	700,000人	
ウ	合計特殊出生率	1.27	1.60	基本目標 3
エ	健康寿命	男78.7歳	男80.0歳	基本目標 4

		女82.2歳	女85.0歳	
--	--	--------	--------	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

市貝町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア サシバの里の環境と地場産業が両立した地域循環型経済の確立

イ 地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信

ウ 子や孫がいきいきと安心して成長できる子育て支援の充実

エ 健やかに生きがいを持って生き抜くことができる体制の構築

② 事業の内容

ア サシバの里の環境と地場産業が両立した地域循環型経済の確立

絶滅危惧種Ⅱ類のサシバが営巣する谷津田とその周辺の環境を守るために、環境保全型の農業に取り組む農業者を確保しなければならないが、付加価値の高い特産物を導入し、6次産業化を図ることが必要である。道の駅や地元企業と連携するとともに、離農した非農業者を地域に残して環境保全活動に参画できるよう、企業の誘致にも努める。

【具体的な事業】

・新規就農支援

・6次産業化の推進 等

イ 地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信

登録商標「サシバの里」を地域ブランドまでに仕上げ、国際サシバサミットなど国際的なネットワークを駆使して町の魅力を内外に発信していく。また、国際的な都市である宮古島市と交流都市となったことを町の玄関である道の駅などでアピールし、知名度向上につなげる。

さらに、サシバの里づくりを核とした都市との交流を深め、関係人口や移住者の増加に努める。

【具体的な事業】

- ・サシバの里づくり事業
- ・定住促進 等

ウ 子や孫がいきいきと安心して成長できる子育て支援の充実

当町では、国際保護鳥のサシバが日本一の密度で営巣し、子育てをし、越冬のため東南アジア方面に渡る。町民も「子育て日本一」になろうと一丸となって孫や子どもたちが健やかに心豊かに成長するように、子育て支援に取り組んでいるところである。

就学前から家庭の負担を軽減するとともに、ふる里に対する誇りと自信を醸成し、地域の未来の担い手となるよう郷土愛を育む教育を行う。

また、家族形成を促すためのキャリア教育、結婚、居住支援などきめ細かな支援を行う。

【具体的な事業】

- ・子育て支援
- ・結婚相談事業 等

エ 健やかに生きがいを持って生き抜くことができる体制の構築

住み慣れた地域で、家族をはじめ友だちや隣近所の人々から温かい援助を受けながら、幸せに生きがいを持って生き抜けるように努める。いつまでも健康であるように、一人になっても誰かとつながってられるように、そして、いつでもみんなと話し合うことができるように、社会参加を保障する。

さらに、健康と安心を確保するとともにICTを活用する。

【具体的な事業】

- ・各種健康診査
- ・地域づくり活動やボランティア活動への支援 等

※ なお、詳細は第2期市貝町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

300,000 千円（2021 年度～2026 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 7 月、施策及び関連事業の進捗を把握するとともに、基本目標の成果（数値目標）及び施策の指標（重要業績評価指標（K P I））を検証する。

施策及び関連事業の実施状況とともに、その効果の客観的な検証結果に基づき、次年度の施策を改善していく P D C A サイクルによる進捗管理を行う。

なお、上記の P D C A サイクルによる進捗管理は、町民をはじめ、産業界、行政、教育界、金融機関、労働団体、メディア（産官学金労言）などで構成する「まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」において行う。また、検証後速やかに市貝町公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2027 年 3 月 31 日まで

5－3 その他の事業

5－3－1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5－3－2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2027 年 3 月 31 日まで